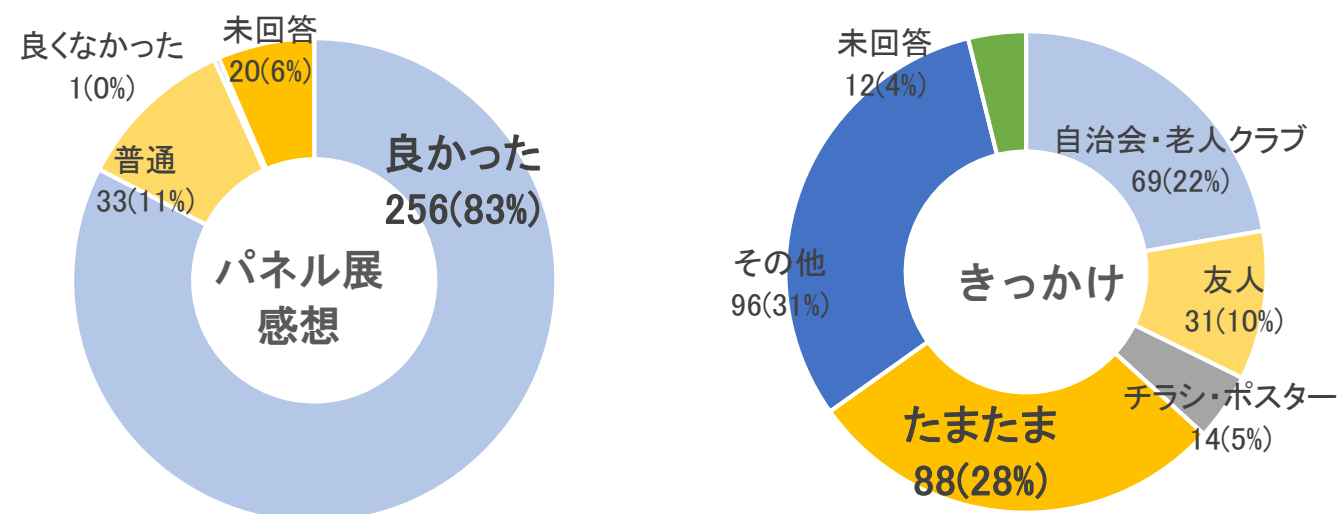


# 介護予防と生活支援の語らん場パネル展と介護予防体験 アンケート集計結果

○日時、参加者数 【参加者合計：353人、アンケート回収数310人、回収率87.8%】

	中央部		北部		西部		南部		東部	
場所	諫早図書館		西諫早公民館		たらみ図書館		森山図書館		高来西ゆめ会館	
日時	R3.2.25～R3.2.26		R3.3.15～R3.16		R3.3.10～R3.3.11		R3.3.4～R3.3.5		R3.3.1～R3.3.2	
	天気	人	天気	人	天気	人	天気	人	天気	人
1日目	晴	59	晴	30	晴	16	晴	39	晴	33
2日目	雨	42	雨	35	晴	25	晴/雨	30	晴	44
参加者合計	101人		65人		41人		69人		77人	
回収数	90人		54人		38人		62人		66人	
回収率	89.1%		83.1%		92.7%		89.9%		85.7%	

## 【パネル展について】



### 【感想】

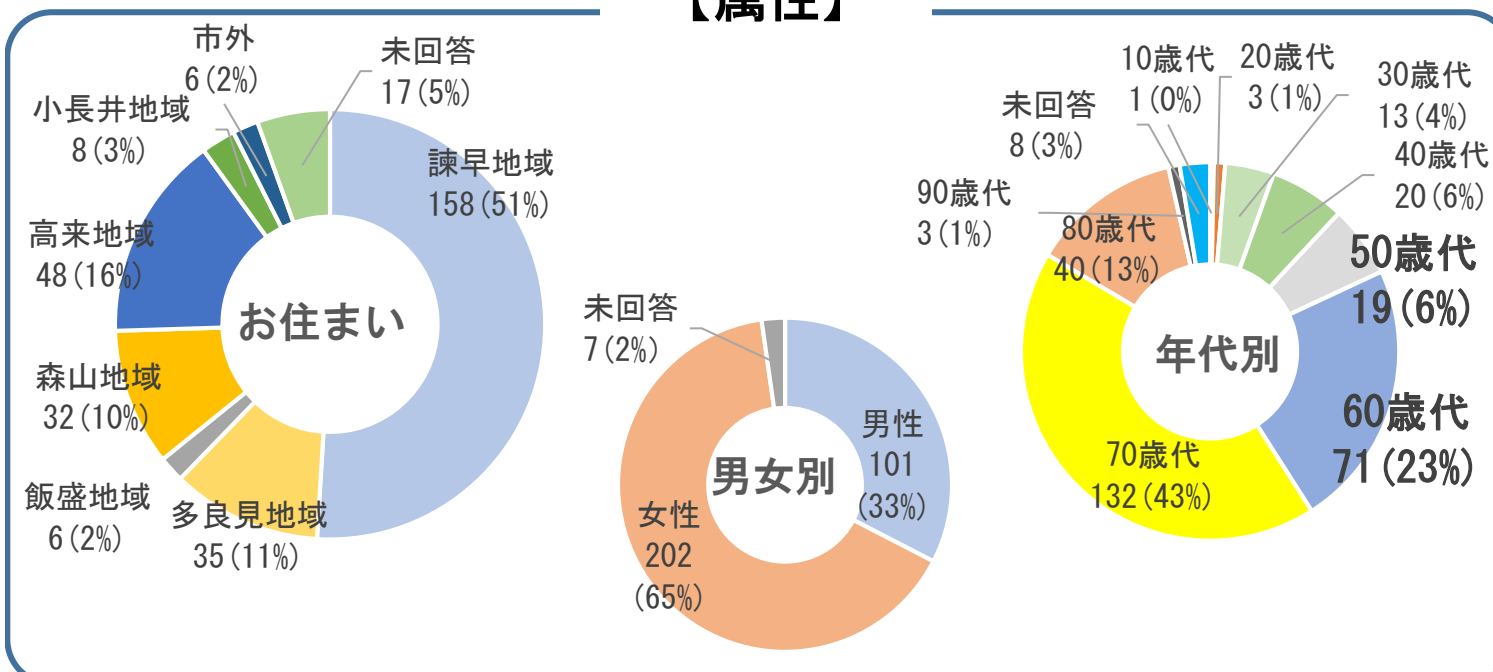
- ・パネル展形式なので、自分の都合が良い時間に参加することが出来た。
- ・コロナ禍でも、工夫しながら活動をしている様子を知る事が出来た。
- ・自分達の地区の実態を知ることが出来、何とかしなければならなかった。
- ・活動内容を知るきっかけとなり、コロナ禍でもこういった形で情報共有できることを学んだ。
- ・取り組みが進んでいる地域の体験・実態を見る事ができ、参考になった。
- ・地元の活動内容はなおさら興味がわく。
- ・高齢者のおかれた状況を初めて知り、考えさせられた。
- ・語らん場や地域での活動の様子を、もっと沢山のの人に知ってもらいたい。
- ・パネルの位置をもう少し目線まで下げてほしい。
- ・白内障のため、パネルが見えづらかった。
- ・どこの地域も大変よく頑張っていると思うが、「自分が」と思うとなかなか難しい。

### 【結果】

- ・参加者の8割がパネル展を「良かった」と回答
- ・参加者の3割は図書館来館時に「たまたまパネル展を知った」と回答
- ・パネル展の参加で語らん場や地域活動、高齢者の現状を知る機会となっている
- ・パネルの展示の仕方、見やすさへの工夫を指摘する回答もあり

## ○アンケート結果

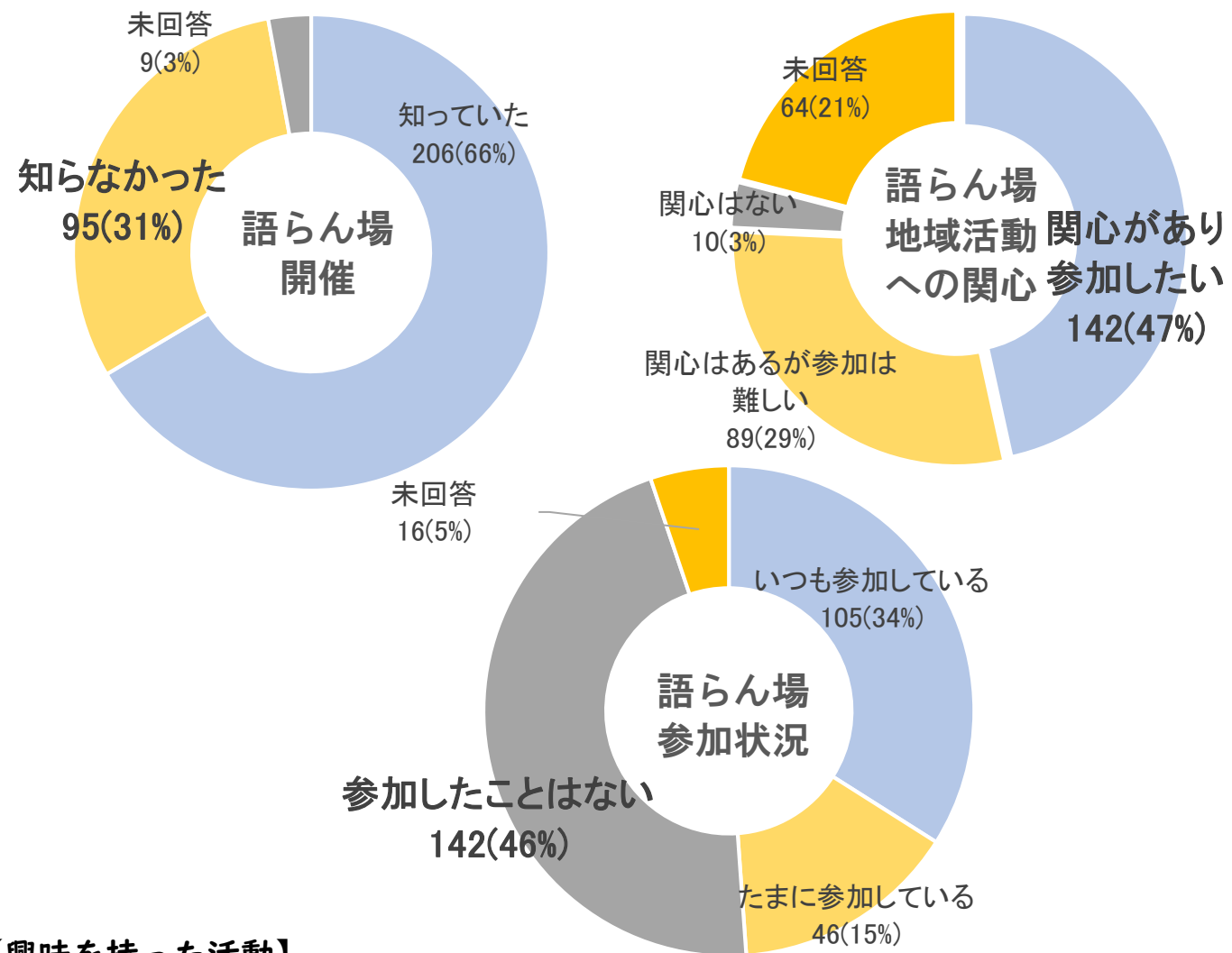
### 【属性】



### 【結果】

- ・参加者数は5会場10日間で353名だった
- ・天候による参加者数の大きな変動は見られない
- ・参加者の6割を女性が占めている
- ・参加者の年齢内訳は20歳代～40歳代が1割、50歳代～60歳代が約3割、70歳代以上が6割だった

## 【語らん場について】



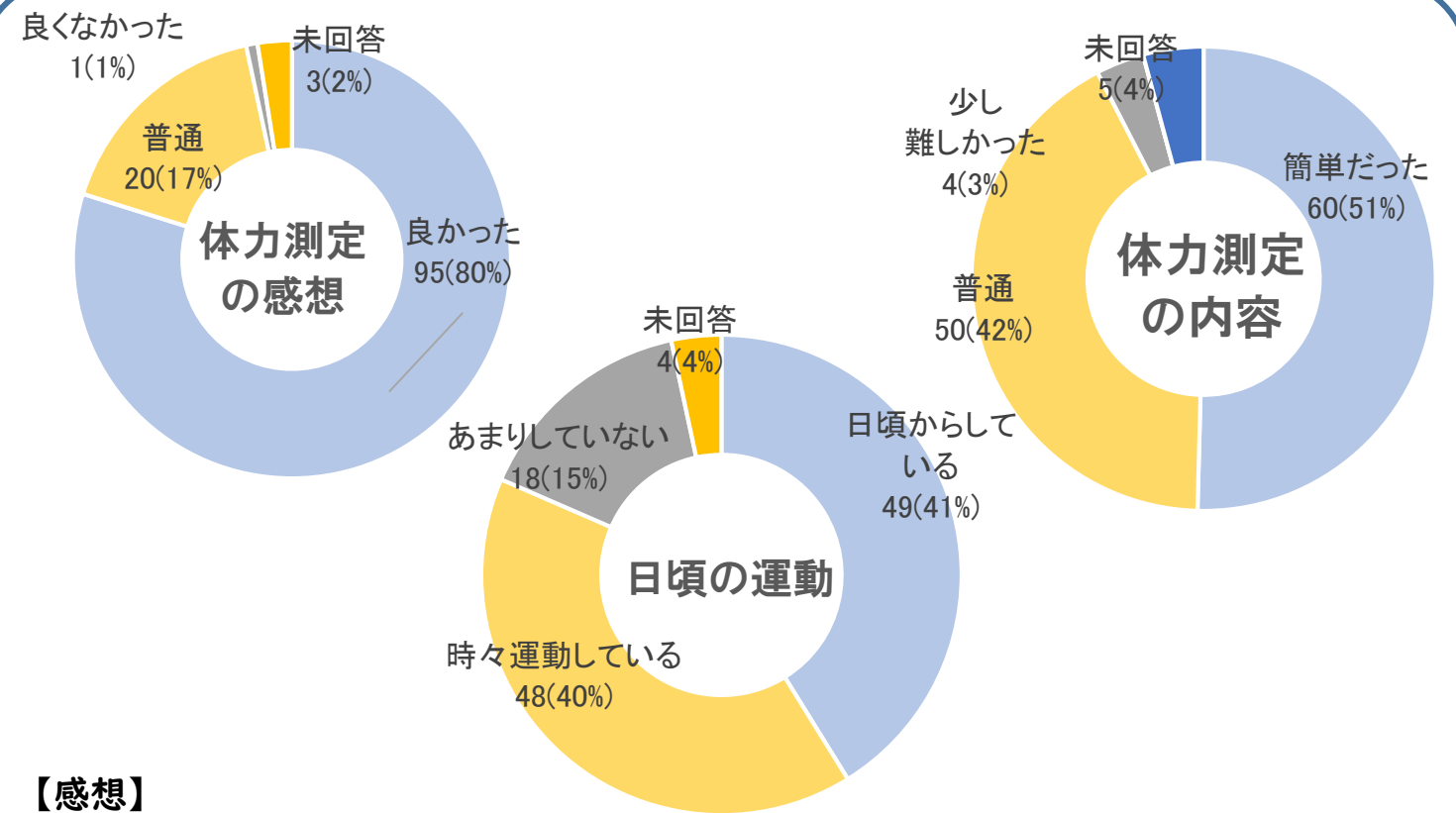
### 【興味を持った活動】

- ・野外での活動をされている地域に、移動時の事故やケガの有無を聞いてみたい。
- ・時間にゆとりが出たら、ゴミ捨て支援・独居高齢者の見守りなどをしたい。
- ・ダンスや体操、1人ではなかなかできなくても、みんなですると楽しそう。
- ・それぞれの地域での状況やニーズが異なるが、内容を工夫されていた。
- ・語らん場には参加しているが、地域の中でどのように活動していけば良いかわからない。
- ・一人暮らしの人の対応が難しい。

### 【結果】

- ・参加者の3割は語らん場を「知らない」と回答
- ・参加者の半数は語らん場に「関心があり参加したい」、3割は「関心はあるが参加は難しい」と回答
- ・参加者の半数は語らん場に「参加したことない」と回答
- ・語らん場参加者の中には地域活動の進め方の戸惑う住民がいる

## 【体力測定について】



### 【感想】

- ・自分の体力を知ることが出来た。良い機会になった。
- ・この活動が広まり、みんなの意識が高まるといいなと思った。
- ・今後も定期的に体験したい。これは、ぜひ続けてほしい。
- ・年齢と比較して体力があるのか衰えているのかが分かるといいなと思った。
- ・バランスを取るのが難しく、体幹の衰えを知る事が出来た。

### 【結果】

- ・参加者の8割が体力測定について「良かった」と回答
- ・参加者の半数は体力測定の内容が「簡単だった」と回答
- ・参加者の8割は「日頃からの運動習慣がある」と回答

### まとめ

- 語らん場の普及について  
語らん場や地域活動を知らせることで、活動に関心を持つ人材発掘の機会となった
- 語らん場参加者の意欲向上について  
自分達の活動を応援をされること、参考にしたいと評価されることで更なる活動意欲へと繋がった
- 好事例の横展開について  
参考にしたい活動やその連絡先を知ることができた
- 介護予防の動機づけについて  
自身の体力を知ること、フレイル予防の意識を高める機会となった